

2023年度第1四半期 決算報告書

プレスリリース
2023年5月3日、パリ発

BNPパリバのビジネスモデルの強みを活かし、極めて堅調な業績を達成

分配可能純利益¹は
当グループの本来の業績を反映
2,845百万ユーロ

(2023年度第1四半期親会社株主帰属純利益(公表額): **4,435百万ユーロ** (Bank of the Westの売却による譲渡益ならびに一時項目および特別損益項目を含む。))

全事業部門の貢献により、営業収益が大幅に増加

ホールセールバンキング部門における増加 (+4.0%²)
コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門における増加³ (+5.9%²)
インベストメント&プロテクションサービス部門における増収 (+0.6%²)

基礎的営業収益⁴: 前年同期比+5.3%²
基礎的営業費用⁴: 前年同期比+3.8%²

景気局面を通してリスクは低い水準
財務構造は盤石

慎重かつ積極的で長期にわたるリスク管理に加え、当グループの強力な多角化および有利な
ポジショニング(地域別、セクター別、事業別および顧客セグメント別)

リスク費用: **28**ベースポイント⁵
普通株式等Tier 1比率⁶: **13.6%**
流動性カバレッジ比率⁶: **139%**

2023年度の分配可能EPSにおいて力強い成長軌道を確認

分配可能EPS⁷: **2.19ユーロ**
(年率**18.3%**の増加⁸)

1. 2023年度第1四半期の分配可能純利益については3ページの注記1に記載; 2. 2022年度第1四半期修正再表示後との比較。2ページおよびウェブサイト (<https://invest.bnpparibas>) にて入手できる2022年度の修正再表示の詳細を記載した資料を参照; 3. コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く); 4. 2023年度第1四半期の当グループの本質的な業績を反映するために国際財務報告基準解釈指針委員会(IFRIC)第21号に基づく賦課金および一時費用を除いた、分配可能額に基づく; 5. リスク費用+顧客向け融資期首残高(単位:ベースポイント); 6. 資本要求指令5(CRD5)。国際財務報告基準(IFRS)第9号経過規定を含む。期末の流動性カバレッジ比率(LCR); 7. 2023年度の分配可能純利益に基づく1株当たり利益; 8. 年率の増加は、単一破綻処理基金の調整額(+797百万ユーロ)およびパーソナル・ファイナンスに関連する税引後事業適応費用全体(+175百万ユーロ)を反映



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について (i) 2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、(ii) 2023年1月1日付でのIFRS第17号(保険契約)の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、(iii) 2022年1月1日付でのトルコに対する国際会計基準(IAS)第29号(超インフレ経済下における財務報告)の適用、ならびに(iv) グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものととして修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化(世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連)、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス(Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行(ECB)により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2023年5月2日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2023年度第1四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に、以下のよう
に述べました。

「BNPパリバ・グループは、すべての経営資源とすべての事業を引き続き結集し、個人・法人・機関投資家
のお客様を景気循環のあらゆる局面において支援しています。

BNPパリバは、事業、地域および顧客フランチャイズの面で多角的なビジネスモデルを強みとして、2023
年度第1四半期に極めて高い業績を達成しました。これは、経済に貢献する独自の能力をもたらす先進的な
プラットフォームの効率性を反映しています。この業績は、長期にわたりお客様を支援するというBNPパリ
バの堅実さとコミットメントを反映しています。

BNPパリバは、環境・社会面での意欲的な目標を達成するための取組みを加速させるなかで、経済や社会の
変革において、より積極的な役割を果たすことを目指しています。

BNPパリバの世界中のチームすべてに謝意を表します。お客様に常に寄り添ってきたその一貫した姿勢によ
り、我々への信頼は大きく高まっています。」

*
* *

堅調な業績

当グループは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備えており、チーム、資源および能力を結集して顧客に
寄り添い経済とともに歩む力を包括的に擁しているため、2023年度第1四半期においても引き続き事業活動
と純利益を力強く伸ばすことができました。

BNPパリバの長期的アプローチおよび慎重かつ積極的なリスク管理によって強化された堅実なビジネスモデ
ルにより、2023年度第1四半期における分配可能純利益¹は2,845百万ユーロとなりました。

これらの業績は、当グループの強固な本来の業績を反映しており、『Growth, Technology & Sustainability
2025』プランの目標達成に向けた強固な基盤となっています。

BNPパリバは、ビジネスモデルの強みによりこれまで以上に恩恵を受けており、2023年2月に上方修正され
た2025年度に向けた目標を掲げています。特に、当グループは、2023年度の分配可能純利益¹が『Growth,
Technology & Sustainability 2025』プランの目標に沿って増加する（すなわち、報告されている2022年度の
業績と比較して9%超の増加）と予想していることを確認しています。また、当グループは、2023年度の1株
当たり分配可能利益²の増加が『Growth, Technology & Sustainability 2025』プランの目標を上回る（すなわ
ち、報告されている2022年度の業績と比較して12%超の増加）という目標についても確認しています。

当グループは、社会との関わりを深める方針を強化しています。当グループは、包括的なアプローチを採用
し、顧客とともに持続可能な低炭素経済への移行に取り組んでいます。また、ローンポートフォリオをカー
ボンニュートラルに向けた取組みに沿うよう調整するために必要な措置を講じています。これにより、BNP
パリバは、2023年度第1四半期において、グリーンボンド発行額で世界第1位となりました³。当グループは、
社会的責任ならびに従業員の能力および責任感の育成においても意欲的な目標を定めています。そのため、

¹ 分配可能純利益（2023年度第1四半期は2,845百万ユーロ）は、2023年2月に行われた発表に基づき調整されている。すなわち、純利
益（公表額）から一時項目（2023年2月1日に完了したBank of the Westの売却による譲渡益（+2,947百万ユーロ）、2022年度第4四
半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整によるマイナス影響（-403百万ユーロ））を除き、かつ分配可能
純利益を954百万ユーロ上方修正（単一破綻処理基金の増額の終了による見込額（+797百万ユーロ）および補完的調整（+157百万ユ
ーロ））。2023年度第1四半期決算資料のスライド44を参照

² 分配可能純利益に基づき算定

³ 出所：Bloomberg社、2023年3月31日時点のブックランナー（取引高）



2025年までに上級管理職の40%を女性が占めるという目標を定めています（2022年度末時点では35.2%）。また、当グループは、研修にも細心の注意を払っています。2022年度において、従業員の97.4%が少なくとも4回（年間平均21.8時間）の研修を受講しました。

グループ全体の当四半期の営業収益は、12,032百万ユーロとなり、前年同期比1.4%増でした。当四半期には、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的なマイナス影響（-403百万ユーロ）が含まれていました。

2023年2月に発表された分配可能純利益を算出するために調整した営業収益は、当四半期において、一時的なマイナス影響（+403百万ユーロ）の修正および補完的調整（+57百万ユーロ）の結果、前年同期比5.3%増の12,492百万ユーロとなりました。

事業部門の当四半期の営業収益は、前年同期比4.4%増でした。全事業部門で増収となりました。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は、4.0%増加しました。これは、グローバル・バンキング事業の大幅増収（+15.6%）、証券管理事業における非常に好調な業績（+6.7%）、およびグローバル・マーケット事業の営業収益が高水準で推移したことが寄与しました。コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門の営業収益は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における力強い伸び（+6.8%¹）および専門的金融事業（特にアルバル）における増収（+4.5%）により、5.9%¹増と大幅に増加しました。パーソナル・ファイナンスはあまり有利な環境ではありませんでした。最後に、インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は、0.6%増加しました。これは、保険事業およびウェルス・マネジメント事業における大幅増収が、アセット・マネジメント事業²および不動産管理事業に対する不利な環境の影響により相殺されたことによるものでした。

グループ全体の当四半期の営業費用は、9,191百万ユーロで、前年同期比5.0%増でした。当四半期の営業費用には、一時費用の影響額として合計361百万ユーロ（前年同期は72百万ユーロ）が含まれていました。

分配可能純利益を算出するために調整した営業費用は、前年同期比3.8%増となりましたが、これはIFRIC第21号に基づく賦課金の影響および一時費用を除いたものです。当四半期の営業費用は、当グループの本来の業績、特に単一破綻処理基金の増額が終了するとの予想を反映して、分配可能純利益を算出するために-897百万ユーロの調整が行われ、8,294百万ユーロとなりました。

当四半期において、当グループは、一時項目による影響として、パーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般（236百万ユーロ）、事業再編費用と事業適応費用（30百万ユーロ）およびIT強化費用（95百万ユーロ）による合計361百万ユーロ（前年同期は72百万ユーロ）を計上しました。IFRIC第21号「賦課金」の適用により、営業費用には、当年度に計上される税金・拠出金の全額である1,601百万ユーロ（前年同期は1,789百万ユーロ）が含まれ、その内訳は主に単一破綻処理基金への拠出金の見積額（当四半期は997百万ユーロ、前年同期は1,256百万ユーロ）でした。

事業部門の当四半期の営業費用は、前年同期比4.1%増でした。ジョーズ効果はプラスでした。CIB部門の営業費用は、事業活動の伸びにより、3.1%増でした。ジョーズ効果はプラス（+0.9ポイント）でした。CPBS部門¹の営業費用は、4.7%増でした。ジョーズ効果はプラス（+1.2ポイント）でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業¹の営業費用は3.3%増、ジョーズ効果はプラス（3.5ポイント）で、専門的金融事業の営業費用は8.1%増、ジョーズ効果はアルバルとリーシング・ソリューションズにおいてプラス（10.9ポイント）でした。最後に、IPS部門の営業費用は、5.4%増でした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、当四半期において2,841百万ユーロとなりました。前年同期は3,114百万ユーロでした。当四半期の営業総利益は、分配可能純利益を算出するための調整を行った場合、4,198百万ユーロとなりました。

¹ プライベートバンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² アセット・マネジメント事業およびプリンシパル・インベストメンツ



リスク費用は、当四半期において642百万ユーロとなり、前年同期比1.4%減で、顧客向け融資残高の28ベシスポイント相当でした。これは極めて低い水準で、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入を反映しています。

グループ全体の営業利益は、当四半期において2,199百万ユーロとなりました。前年同期は2,463百万ユーロでした。当四半期の営業利益は、分配可能純利益を算出するための調整を行った場合、3,556百万ユーロとなりました。

グループ全体の税引前利益は、当四半期において2,377百万ユーロとなりました。前年同期は2,625百万ユーロでした。当四半期の税引前利益は、分配可能純利益を算出するための調整を行った場合、3,734百万ユーロとなりました。

法人税率は平均で36.0%でした。これは特に、IFRIC第21号「賦課金」により当年度の税金・拠出金が第1四半期に計上され、その大半は税控除できないことによるものです。前年同期の平均法人税率は、36.5%でした。

当グループは、2023年2月1日にBank of the Westの売却を完了しました。2021年12月20日に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産・負債グループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、当四半期における非継続事業の純利益は、2,947百万ユーロ（前年同期は229百万ユーロ）となりました。当四半期において、かかる利益はBank of the Westの売却による譲渡益を反映しており、特別損益項目として扱われているため、分配可能純利益から除外されています。

以上から、当グループの株主帰属純利益は、当四半期において4,435百万ユーロとなりました。前年同期は1,840百万ユーロでした。分配可能純利益は、当四半期において2,845百万ユーロとなりました。これは、Bank of the Westの売却後、および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の、当グループの堅調な本来の業績を反映しています。

有形自己資本利益率（再評価前）は14.1%（前年同期は13.5%）でした。

2023年3月31日現在、普通株式等Tier1比率は13.6%¹でした。流動性カバレッジ比率（期末）は、2023年3月31日現在、139%（2022年12月31日現在は129%）でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は466十億ユーロに上り、これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率²は4.4%でした。

1株当たり有形純資産額³は84.8ユーロで、2008年12月31日からの年平均成長率は7.6%に相当し、当グループが景気循環を通じて企業価値を着実に創造する能力を備えていることを証明しています。

当グループは、社会的課題について結集して取組みを続けており、顧客のエネルギー・環境移行の支援も継続しています。

最後に、当グループは、内部統制体制の強化を継続しています。

¹ CRD5。IFRS第9号経過規定を含む

² 規則（EU）2019/876に従って算定

³ 再評価後



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は、すべての事業における堅調な顧客取引により、非常に良好な業績を達成しました。その事業活動は非常に堅調で、多角的かつ統合的なビジネスモデルを活用して顧客のニーズに応えました。

CIB部門は、EMEA地域¹において、シンジケートローンおよび債券発行²、トランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントおよびトレードファイナンス³）ならびにマルチディーラー電子取引プラットフォームの分野のリーダーであることを確認しました。

ファイナンス事業は、特に債券発行において、非常に良好な事業活動を達成しました。顧客の取引需要は、金利、為替およびクレジット市場において非常に旺盛でした。株式市場における取引は、非常に高水準であった前年同期から取引高は減少したものの、好調でした。証券管理事業においても、事業活動が非常に堅調で、取引高が高水準で推移しました。

CIB部門の営業収益は、当四半期において**4,873**百万ユーロとなり、前年同期比**4.0%**増でした。これは、グローバル・バンキング事業が非常に堅調な伸びを示し（**+15.6%**）、グローバル・マーケット事業が非常に好調で（非常に高水準であった前年同期比**-1.8%**）、証券管理事業も引き続き好調に推移したこと（**+6.7%**）が寄与しました。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期において**1,455**百万ユーロとなり、前年同期比**15.6%**増でした。営業収益は、すべてのグローバル事業（キャピタルマーケット事業、トランザクションバンキング業務およびアドバイザリー業務）および**3**つの地域すべてにおいて増加し、米州ではさらなる伸びを示しました。トランザクションバンキング業務の営業収益は、特にキャッシュマネジメントにおいて、大幅に増加しました（**+59.8%**）。EMEA地域¹の債券市場の力強い回復により、全体的に有利な環境下において、取引高は高水準でした（前四半期比**+92%**、高水準であった前年同期比**+7%**⁴）。融資残高⁵は**182**十億ユーロで、前年同期比**6.1%**増となりました。預金残高⁵は**216**十億ユーロで、前年同期比**11.3%**増、前四半期比**1.3%**増⁵となりました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引が全体的に非常に堅調であったことから、当四半期において**2,764**百万ユーロと、高水準を維持しました。営業収益は、非常に高水準であった前年同期から**1.8%**減少しました。顧客の取引需要は、金利、為替およびコモディティ市場において、特に金利・為替商品に関して非常に旺盛でした。株式事業は、非常に高水準であった前年同期を下回る取引高であったものの、全体的に良好な取引水準を達成しました。クレジット市場では取引高が増加し、特にEMEA地域¹において、新発債市場および既発債市場の回復がみられました。

FICC事業⁶の営業収益は、当四半期において**1,906**百万ユーロとなり、前年同期比**9.0%**増で、特に新発債市場および既発債市場の回復に伴い、金利、為替およびクレジット業務が非常に好調であったことが寄与しました。

株式・プライムサービス事業の営業収益は、非常に高水準であった前年同期から**19.5%**減の**857**百万ユーロとなりました。

市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、3月に金利ボラティリティが急上昇したものの、慎重な管理により、前四半期比では横ばいで、低水準で推移し、**33**百万ユーロとなりました。

¹ 欧州、中東、アフリカ

² 出所: Dealogic社、2023年3月31日時点、ブックランナー（取引高ベースでの市場シェア）

³ 出所: Coalition Greenwich Share Leader、2022 Europe Large Corporate（トレードファイナンス）、2022 Europe Large Corporate（キャッシュマネジメント）

⁴ 出所: Dealogic社、EMEA地域における債券発行総額の推移

⁵ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁶ Fixed Income, Currencies and Commodities（債券、為替、コモディティ）



証券管理事業では、当四半期において引き続き大幅な増収を達成し、前年同期比**6.7%**増の**655**百万ユーロとなりました。この要因は、金利環境の好影響、および取引高が高水準で安定していたことでした。預かり資産平均残高は、前年同期比では**4.9%**減少したものの、当四半期終盤における市場の回復により、前四半期比では**4.5%**増加しました。証券管理事業の当四半期の取引高は、**39**百万件と過去最高を記録しました。

CIB部門の営業費用は、当四半期において**3,440**百万ユーロとなり、前年同期比**3.1%**増で、事業開発が関係していました。ジョーズ効果はプラス（**+0.9**ポイント）でした。

CIB部門の営業総利益は、当四半期において**1,433**百万ユーロとなり、前年同期比**6.3%**増でした。

CIB部門のリスク費用は、当四半期において**1**百万ユーロと極めて低い水準でした。グローバル・バンキング事業のリスク費用は、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入および不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少により、**1**百万ユーロの削減となりました。

以上から、**CIB**部門の税引前利益は、当四半期において**1,428**百万ユーロに達し、前年同期比**5.7%**増となりました。

*
* *



コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門

CPBS部門は、特にコマーシャル&個人向けバンキング事業の好調な業績およびアルバルにおける伸びにより、純利益が大幅に増加し、ジョーズ効果はプラスとなりました。融資残高は、前年同期比4.4%増（2021年度第1四半期比+9.6%）で、コマーシャル&個人向けバンキング事業および専門的金融事業の双方で増加しました。預金残高は、前年同期比1.2%増（2021年度第1四半期比+9.1%）でした。プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は旺盛で、約4.4十億ユーロに達しました。

営業収益¹は、当四半期において6,666百万ユーロとなり、前年同期比5.9%増でした。純利息収入が大幅に増加したことにより、コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績は好調でした（前年同期比+6.8%）。専門的金融事業の営業収益は、全体で前年同期比4.5%増、パーソナル・ファイナンスを除くと20.4%増でした。

営業費用¹は、当四半期において4,585百万ユーロで、前年同期比4.7%増でした。ジョーズ効果はプラス（+1.2ポイント）で、コマーシャル&個人向けバンキング事業（+3.5ポイント）およびアルバルとリーシング・ソリューションズ（+10.9ポイント）において極めて高水準でした。

営業総利益¹は、当四半期において2,081百万ユーロとなり、前年同期比8.6%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において650百万ユーロで、前年同期比9%増でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBS部門の税引前利益²は、当四半期において1,468百万ユーロとなり、前年同期比7.7%増の大幅増益でした。

フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFの当四半期の純利益は増加し、ジョーズ効果はプラスとなりました。事業活動は良好でした。融資残高は、前年同期比4.7%増となり、すべての顧客セグメントで増加しました。住宅ローンでは選択性が維持され、利鞘が徐々に改善しました。預金残高は、前年同期比1.0%増でした。個人顧客の預金は増加し、規制対象貯蓄に対するエクスポージャーは低水準でした。法人顧客およびプライベートバンキング顧客の預金はほぼ横ばい（前年同期比-0.3%）でした。利鞘は持ちこたえました。オフバランス貯蓄商品は、2022年度の不利な市場環境下にあった2022年3月31日現在と比較して3.3%増でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、1.2十億ユーロと好調でした。

営業収益¹は、当四半期において1,670百万ユーロとなり、前年同期比4.2%増でした。純利息収入は、金利環境により、6.8%増加しました。手数料収入は、銀行手数料（特に決済手数料およびキャッシュマネジメント手数料）に支えられ、前年同期比1.4%増でした。

営業費用¹は、当四半期において1,276百万ユーロで、前年同期比3.0%増でした。これは成長を支えたものの、コスト節減策の継続的な効果に抑制されました。ジョーズ効果はプラス（+1.2ポイント）でした。

営業総利益¹は、当四半期において394百万ユーロとなり、前年同期比8.4%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において75百万ユーロ（前年同期比17百万ユーロの削減）でした。これは、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入を反映しています。リスク費用は、顧客向け融資残高の13ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。

¹ プライベートバンキングの100%を含み、PEL/CELの営業収益に対する影響を除く（2023年度第1四半期は+3百万ユーロ、2022年度第1四半期は+11百万ユーロ）

² プライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を除く）



以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBFの税引前利益¹は、当四半期において282百万ユーロとなり、前年同期比18.0%増の大幅増益でした。

BNLバンカ・コメルシアーレ（BNL bc）

BNL bcの純利益は当四半期において増加し、リスクプロファイルは着実に改善しています。融資残高は、前年同期比1.8%減でしたが、不良債権を除くと0.2%増でした。増収増益を支えたのは、すべてのセグメントにおける中長期融資でした。預金残高は、法人顧客による預金が増加したことにより、前年同期比1.1%増となりました。プライベートバンキングへの資金純流入は、法人顧客セグメントとのシナジーに支えられ、非常に好調（1.2十億ユーロ）でした。

営業収益²は、当四半期において、前年同期比3.2%増の675百万ユーロとなりました。純利息収入は、利鞘への圧力にもかかわらず、金利環境の好影響により、3.0%増加しました。手数料収入は、特に法人顧客からの銀行手数料が持続的に増加したことにより、3.5%増加しました。

営業費用²は、当四半期において464百万ユーロとなり、前年同期比2.3%増でした。オペレーティングモデルの革変および重点的取組みにより、ジョーズ効果はプラス（+0.9ポイント）でした。

これらを受けて、営業総利益²は、当四半期において211百万ユーロとなり、前年同期比5.3%増でした。

リスク費用²は、当四半期において98百万ユーロとなり、前年同期比30百万ユーロ減でした。リスク費用は、着実に削減されており、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入を反映しています。リスク費用は、顧客向け融資残高の49ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益¹は、当四半期において106百万ユーロとなり、前年同期比63.1%増の大幅増益でした。

ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング（CPBB）

CPBBの当四半期の純利益は大幅に増加し、ジョーズ効果は極めて高水準でした。事業活動は好調でした。融資残高は、個人・法人向け貸出の増加により、前年同期比6.0%増となりました。預金残高は、前年同期比0.4%減となりました。個人およびプライベートバンキング顧客の預金は全体で増加し、利鞘は持ちこたえました。オフバランス貯蓄商品は、2022年度の不利な市場環境下にあった2022年3月31日現在との比較で5.8%減でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、好調（1.5十億ユーロ）でした。

営業収益²は、当四半期において1,016百万ユーロとなり、前年同期比8.6%増でした。純利息収入は、預貸利鞘の改善により、前年同期比15.6%増と大幅に増加しました。手数料収入は、高水準であった前年同期比5.9%減でした。

営業費用²は、当四半期において945百万ユーロとなり、前年同期比4.5%増でした。その要因はインフレでしたが、コスト節減策の効果および体制の最適化により抑制されました。ジョーズ効果は極めて高水準（+4.2ポイント）でした。

営業総利益²は、当四半期において70百万ユーロ（前年同期は30百万ユーロ）となり、大幅増益となりました。

¹ プライベートバンキングの3分の2を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）

² プライベートバンキングの100%を含む



当四半期のリスク費用¹は、不良債権（ステージ3）に対する引当金の戻入により、8百万ユーロとなりました。リスク費用は、顧客向け融資残高の2ベシスポイント相当と極めて低い水準でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益²は、当四半期において52百万ユーロとなり、前年同期比24.0%増の大幅増益でした。当四半期には、IFRIC第21号に基づく賦課金の影響-379百万ユーロ¹が反映されています。

ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング（CPBL）

CPBLの当四半期の純利益は大幅に増加しました。融資残高は、法人向け貸出および住宅ローンの増加により、前年同期比3.8%増となりました。預金残高は、前年同期比0.5%増となりました。

営業収益¹は、当四半期において145百万ユーロとなり、前年同期比26.6%増でした。純利息収入は、取引高が増加したことに加え、法人顧客の預貸利鞘が持ちこたえたことにより、前年同期比36.3%増と大幅に増加しました。手数料収入は、高水準であった前年同期比5.3%減でした。

営業費用¹は、当四半期において88百万ユーロとなり、事業開発に関連して、前年同期比9.4%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+17.2ポイント）でした。

営業総利益¹は、当四半期において58百万ユーロとなり、大幅増益（前年同期比+66.5%）でした。

リスク費用¹は、当四半期において1百万ユーロと極めて低い水準でした（前年同期は5百万ユーロの戻入）。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBLの税引前利益²は、当四半期において55百万ユーロ（前年同期は40百万ユーロ）に達しました。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の事業活動は非常に好調でした。融資残高は、ポーランドを中心に法人顧客の取引高が増加したことにより、前年同期比6.6%増³でした。融資組成は、特にトルコにおいて、またポーランドの個人顧客向けに慎重かつ的を絞ったものでした。預金残高は、前年同期比13.8%増³で、ポーランドおよびトルコにおいてすべてのセグメントで増加しました。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益¹は、当四半期において648百万ユーロとなり、前年同期比18.8%増⁴の大幅増収でした。これは、特にポーランドにおいて、預金に係る純利息収入が大幅に増加したことにより起因しています。当四半期においてトルコではプラスの非経常的項目が生じました。

営業費用¹は、当四半期において435百万ユーロとなり、前年同期比9.5%増⁴で、その要因は特に、高インフレでした。ジョーズ効果は極めて高水準（+9.3ポイント⁴）でした。

営業総利益¹は、当四半期において212百万ユーロに達し、前年同期比44.3%増⁴の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において49百万ユーロとなり、前年同期（41百万ユーロ）を上回りました。リスク費用は、顧客向け融資残高の53ベシスポイント相当で、2022年度第4四半期と比較して不良債権（ステージ3）に対する引当金が減少したことに支えられ、低水準にとどまりました。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号の適用により、為替レート変動による影響を含む。



以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益¹は、当四半期において280百万ユーロに達し、前年同期比42.4%増²の大幅増益で、2023年2月15日に行われたコートジボワールの事業の売却による譲渡益により際立ちました。

専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、引き続き事業を転換し、適応させました。融資残高は増加し（前年同期比+4.7%）、すべてのセグメントで増加しました。組成時の利鞘には圧力がかかっていました。

営業収益は、当四半期において1,288百万ユーロとなり、前年同期比7.2%減でした。これは、取引高は増加したものの、利鞘が減少したことに起因しています。

事業開発への投資および目標を絞ったプロジェクトにより、営業費用は、当四半期において810百万ユーロとなり、前年同期比4.5%増でした。

営業総利益は、当四半期において477百万ユーロとなり、前年同期比22.1%減でした。

リスク費用は、当四半期において358百万ユーロ（前年同期比42百万ユーロ増）でした。リスク費用は、顧客向け融資残高の145ベースポイント相当でした。不良債権に対する引当金は、前四半期比で減少しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当四半期において122百万ユーロとなり、前年同期比60.0%減でした。

専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの業績は、当四半期も極めて好調でした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は1.6百万台³に上り、前年同期比8.8%増と非常に順調に増加しました。中古車価格は、依然として非常に高水準で推移しています。

リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は、当四半期において23.1十億ユーロで、前年同期比6.0%増⁴でした。特にテクノロジーとライフサイクル・ソリューションズにおいて、事業活動が順調に推移しています。

アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、当四半期において982百万ユーロとなり、前年同期比20.9%増の大幅増収でした。中古車価格の高騰によりアルバルの業績が非常に好調であったことに加え、リーシング・ソリューションズにおけるファイナンスリース残高が大幅に増加したことが寄与しました。

営業費用は、当四半期において403百万ユーロとなり、前年同期比10.0%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+10.9ポイント）でした。

営業総利益は、当四半期において579百万ユーロとなり、前年同期比29.9%増の大幅増益でした。

以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当四半期において517百万ユーロとなり、前年同期比17.4%増の大幅増益でした。

¹ プライベートバンキングの3分の2を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号の適用により、為替レート変動による影響を含む。

³ 期末におけるフリート契約台数

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く



専門的金融事業－ニューデジタル事業と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業の業績は、非常に好調でした。

Nickelは欧州で展開を続け、口座開設は引き続き好調なペースで進んでおり、2023年3月31日時点の口座開設数は約3.2百万に上り¹、2022年3月31日現在と比較して25.9%増となりました。

フランスの後払い決済最大手Floaの顧客は当四半期において3.8百万人に上り（2022年3月31日現在との比較で+10.8%）、ローン組成は与信基準の厳格化に伴い良好な水準で推移しています。なお、Floaの業績の50%は2022年2月1日からニューデジタル事業に連結されています。

個人投資家事業では、預金残高が前年同期比6.2%増と大幅に増加し、顧客数も大幅に増加しました（新規顧客は80,000人超）。

ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益²は、当四半期において243百万ユーロとなり、前年同期比18.5%増の大幅増収でした。増収要因は、事業開発によりニューデジタル事業において大幅に増加したこと、および個人投資家事業の預金に対する金利環境の好影響でした。

営業費用²は、当四半期において164百万ユーロとなり、前年同期比24.1%増と大幅に増加しました。その要因は、ニューデジタル事業の事業開発戦略でした。

営業総利益²は、当四半期において79百万ユーロとなり、前年同期比8.4%増の大幅増益でした。

リスク費用²は、当四半期において23百万ユーロ（前年同期は12百万ユーロ）でした。

ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益³は、当四半期において54百万ユーロとなり、前年同期比7.0%減でした。

*
* *

¹ すべての国の合計（設立来）

² ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

³ ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む



インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の事業活動は、特に資金純流入により支えられ、全体的に好調でした。IPS部門への資金純流入は、特にウェルス・マネジメント事業およびアセット・マネジメント事業において極めて堅調でした（当四半期は+19.4十億ユーロ）。保険事業では、フランス国内外において保障保険業務が好調に推移しました。不動産管理事業は、特にアドバイザー業務において非常に堅調であった前年同期と比較して、不利な事業環境でした。

営業収益は、保険事業の堅調な増収およびウェルス・マネジメント事業の好調な成長に牽引され、当四半期において1,409百万ユーロとなり、前年同期比0.6%増でしたが、厳しい事業環境にあったアセット・マネジメント事業¹の業績の低下により相殺されました。

営業費用は、事業開発および重点的取組みへの支援に関連して増加し、当四半期において897百万ユーロとなり、前年同期比5.4%増でした。

営業総利益は、当四半期において512百万ユーロとなり、前年同期比6.7%減でした。

以上から、IPS部門の税引前利益は、当四半期において578百万ユーロとなり、高水準であった前年同期から7%減でした。これは主に、前年同期の合弁事業の設立に関連する譲渡益によるマイナスのベース効果によるものでした。

2023年3月31日現在、運用資産残高²は、1,213十億ユーロでした。2022年12月31日現在の1,172十億ユーロと比較して増加しました。これは主に市場動向の影響（+27.1十億ユーロ）、不利な為替の影響（-3.7十億ユーロ）および非常に好調な資金純流入（+19.4十億ユーロ）によるものでした。資金純流入は、特にアセット・マネジメント事業のマネー・マーケット・ファンドへの流入およびウェルス・マネジメント事業への非常に好調な流入により牽引されました。

2023年3月31日現在、運用資産残高²は、アセット・マネジメント事業および不動産管理事業の555十億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業の406十億ユーロならびに保険事業の251十億ユーロで構成されています。

保険事業は、新しいIFRS第17号会計基準の下で2023年度に好調なスタートを切りました。フランスの貯蓄型保険業務は良好な事業活動を達成し、当四半期は6.2十億ユーロの総資金流入がありました。保障保険業務はフランスにおいて引き続き拡大し、アフィニティ保険および損害保険が好調でした。国際的には、特にラテンアメリカで事業活動が拡大しました。

IFRS第17号「保険契約」は、2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」を置き換えました。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号の施行と同時に効力が発生しました。

主な効果は以下のとおりです。

- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されません。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループ事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ適用され、営業総利益には影響を与えません。内部の販売会社に対する項目の影響は、業績の読み方を混乱させないためにコーポレート・センターにおいて示されています。当四半期には、保険事業の帰属営業費用は221百万ユーロとなりました。
- 一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティの影響は、コーポレート・センターにおいて示されるため、保険事業の営業収益に影響はありません。

¹アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメンツ

²分配金を含む



当四半期において、保険事業の営業収益は**524**百万ユーロとなり、前年同期比**6.9%**増で、保障保険業務の増収に牽引されました。

保険事業の営業費用は、当四半期において、事業開発および重点的取組みへの支援に関連して増加し、**202**百万ユーロとなり、前年同期比**2.7%**増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした。

保険事業の税引前利益は、当四半期において**381**百万ユーロとなり、前年同期比**19.2%**増の大幅な増益となりました。当四半期において、かかる増益には特にラテンアメリカおよび欧州の関連会社による寄与の増加が含まれています。

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹への資金純流入は堅調でした。ウェルス・マネジメント事業は、特にフランス、イタリアおよびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングならびに国際的に富裕層からの力強い資金純流入を達成しました。ウェルス・マネジメント事業は、預金マージンの改善によるプラスの影響を受け、すべての地域で力強い成長を遂げました。

アセット・マネジメント事業への資金純流入は、特にマネー・マーケット・ファンドへの堅調な資金純流入に牽引され、非常に良好でした（**13.6**十億ユーロ）。運用資産残高は、マネー・ファンドおよび中長期ファンドの両方において増加しました。

不動産管理事業は、インベストメント・マネジメントおよびプロパティ・マネジメント業務が好調であった一方、アドバイザリー業務は低調に推移しました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、当四半期において**885**百万ユーロとなり、前年同期比**2.7%**減でした。純利息収入が大幅に増加したことにより、ウェルス・マネジメント事業は、大幅な増収を達成しました（**+10.6%**）。アセット・マネジメント事業（プリンシパル・インベストメンツを含む）および不動産管理事業の営業収益は、前年同期の非常に高い水準と比較して、厳しい事業環境を受け、減少しました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業費用は、当四半期において**695**百万ユーロとなり、前年同期比**6.2%**増でした。ウェルス・マネジメント事業のジョーズ効果は極めて高水準でした（**+4.2**ポイント）。アセット・マネジメント事業（プリンシパル・インベストメンツを含む）の営業費用は、前年同期の不利なベース効果を受け、増加しました。

これらを受けて、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当四半期において**198**百万ユーロとなり、前年同期比**34.7%**減でした。これは、前年同期の合弁事業の設立に関連する譲渡益によるマイナスのベース効果の影響を受けました。

*
* *

¹ ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメンツ



コーポレート・センター

IFRS第17号「保険契約」は、2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」を置き換えました。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号の施行と同時に効力が発生しました。

主な効果は以下のとおりです。

- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されません。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループ事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ適用され、営業総利益には影響を与えません。内部の販売会社に対するこれらの項目の影響は、業績の読み方を混乱させないためにコーポレート・センターにおいて示されています。当四半期には、コーポレート・センターの帰属営業費用は250百万ユーロとなりました（前年同期は259百万ユーロ）。
- 一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティの影響は、コーポレート・センターにおいて示されるため、保険事業の営業収益に影響はありません。当四半期において発生したボラティリティの影響額は、2022年度第1四半期の不利な市場環境により、コーポレート・センターでは-16百万ユーロ（前年同期は-158百万ユーロ）でした。

2023年1月1日現在、コーポレート・センターには修正再表示が含まれており、より読みやすくするために各四半期に個別に報告されます。

コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、当四半期において-266百万ユーロとなりました（前年同期は-417百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による影響額として-250百万ユーロ（前年同期は-259百万ユーロ）および公正価値会計（IFRS第9号）に起因する保険ボラティリティの修正再表示による影響額として-16百万ユーロ（前年同期は-158百万ユーロ）が含まれています。

コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、当四半期において250百万ユーロとなりました（前年同期は+259百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による+250百万ユーロ（前年同期は+259百万ユーロ）が含まれています。

以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、2022年度第1四半期の市場環境の影響により大幅に増加し、当四半期において-16百万ユーロ（前年同期は-158百万ユーロ）となりました。

コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において-478百万ユーロとなりました（前年同期は+52百万ユーロ）。当四半期には、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響額-403百万ユーロが含まれています。また、当四半期には、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）を-54百万ユーロ（前年同期は+93百万ユーロ）含んでいます。

コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において-624百万ユーロとなりました（前年同期は-542百万ユーロ）。当四半期において、一時項目による影響として、パーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般が236百万ユーロ、事業再編費用と事業適応費用が30百万ユーロ（前年同期は26百万ユーロ）およびIT強化費用が95百万ユーロ（前年同期は45百万ユーロ）含まれています。



コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において6百万ユーロの戻入となりました。前年同期は54百万ユーロでした。

コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において-1百万ユーロとなりました（前年同期は-42百万ユーロ）。前年同期の営業外項目にはUkrsibbank株式の減損（-159百万ユーロ）および為替換算差額¹の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（-274百万ユーロ）が反映され、この一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+244百万ユーロ）、持分売却による譲渡益（+204百万ユーロ）で相殺されました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、特に2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響およびパーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般による減少で、当四半期において-1,084百万ユーロ（前年同期は-564百万ユーロ）となりました。

財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier1比率は2023年3月31日現在13.6%²で、2022年12月31日現在の水準から130ベースポイント上昇しました。この主因は以下の通りです。

- 2023年2月1日付でのBank of the Westの売却の完了：+170ベースポイント
- 2023年度第1四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの自律的成長を考慮後）：0ベースポイント
- 当年度の分配可能利益の調整による影響：-10ベースポイント
- 自己株式取得プログラムの1つ目のトランシェの開始：-20ベースポイント
- IFRS第17号の適用、モデルの更新および規制の改定に係る影響³：-10ベースポイント

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率⁴は2023年3月31日現在4.4%でした。

流動性カバレッジ比率⁵（期末）は2023年3月31日現在139%の高水準でした（2022年12月31日現在は129%）。

即時利用可能な剰余資金⁶は、2023年3月31日現在で466十億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
* *

¹ 従前、連結資本に計上

² CRD5。IFRS第9号経過規定を含む

³ IFRS第9号の段階的変更を含む

⁴ 規則（EU）2019/876に従って算定

⁵ 規則（CRR）575/2013第451a条に従って算定

⁶ 健全性基準（特に米国基準。日中支払システムの需要を除く。）を考慮した流動性市場資産または中央銀行の適格（相殺能力）を満たすもの

**IFRS第17号適用 – 比較表（未監査）**

2023年1月1日以降、BNPパリバ・グループの保険会社は、2017年5月に公表され、2020年6月に改訂され、2021年11月に欧州連合により採択されたIFRS第17号「保険契約」を、当該基準が求める比較期間の貸借対照表の期首要件に基づき2022年1月1日を移行日として適用しました。

当グループは、保険会社に対するIFRS第9号「金融商品」の適用をIFRS第17号の施行まで先送りしていたため、2023年1月1日から当該基準を適用しています。

また、IFRS第17号の施行により、表示に関してIAS第1号、不動産資産の評価および表示に関してIAS第16号およびIAS第40号、持分法の適用除外に関してIAS第28号、ならびに自己株式および当グループが発行するその他の証券に関してIAS第32号およびIFRS第9号等、他の基準に対する様々な修正が実施されました。

これらの変更の主な影響の詳細は、下表の通りです。



連結貸借対照表 - 比較表

(単位：百万ユーロ)	2022年12月31日現在	IFRS第17号および IFRS第9号の影響	2023年1月1日現在
資産			
預金および中央銀行預け金	318,560	-	318,560
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産			
トレーディング目的有価証券	166,077	-	166,077
貸出金および売戻契約	191,125	-	191,125
デリバティブ金融商品	327,932	-	327,932
ヘッジ目的デリバティブ	25,401	-	25,401
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産			
負債性金融商品	35,878	-	35,878
資本性金融商品	2,188	-	2,188
償却原価で測定する金融資産			
金融機関貸出金および債権	32,616	-	32,616
顧客貸出金および債権	857,020	-	857,020
負債性金融商品	114,014	-	114,014
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(7,477)	-	(7,477)
保険事業に関連する金融投資およびその他の資産	247,403	(1,928) (a) (c) (d)	245,475
当期および繰延税金資産	5,893	39	5,932
未収収益およびその他の資産	209,092	(549)	208,543
持分法適用会社投資	6,263	(190)	6,073
有形固定資産および投資不動産	38,468	-	38,468
無形固定資産	3,790	-	3,790
のれん	5,294	-	5,294
売却目的保有資産	86,839	-	86,839
資産合計	2,666,376	(2,628)	2,663,748
負債			
中央銀行預金	3,054	-	3,054
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債			
トレーディング目的有価証券	99,155	-	99,155
預金および買戻契約	234,076	-	234,076
負債証券	70,460	(4,882) (b) (c)	65,578
デリバティブ金融商品	300,121	-	300,121
ヘッジ目的デリバティブ	40,001	-	40,001
償却原価で測定する金融負債			
金融機関預金	124,718	-	124,718
顧客預金	1,008,054	2	1,008,056
負債性金融商品	154,143	1,216 (c)	155,359
劣後債	24,156	4	24,160
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(20,201)	-	(20,201)
当期および繰延税金負債	3,054	(75)	2,979
未払費用およびその他の負債	185,456	(446)	185,010
責任準備金およびその他の保険負債	226,532	(226,532) (a)	
保険契約に関連する負債		228,630 (b)	228,630
偶発債務等引当金	10,040	-	10,040
売却目的保有資産関連負債	77,002	-	77,002
負債合計	2,539,821	(2,083)	2,537,738
連結資本			
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	115,149	(141)	115,008
親会社株主帰属当期純利益	10,196	(348)	9,848
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	125,345	(489)	124,856
資本に直接認識される資産および負債の変動	(3,553)	(66)	(3,619)
親会社株主資本	121,792	(555) (e)	121,237
少数株主資本	4,763	10	4,773
連結資本合計	126,555	(545)	126,010
負債および連結資本合計	2,666,376	(2,628)	2,663,748



IFRS第4号からIFRS第17号への移行に関連する主な影響は以下の通りです：

(a) IFRS第4号に基づき認識されていた保険資産および保険負債の削除：

- 「保険事業に関連する金融投資およびその他の資産」における-5.2十億ユーロ
保有する再保険資産に関連する-2.3十億ユーロ（主に数理上の準備金）およびシャドー・アカウント
ングから生じる繰延利益分配に関する-2.9十億ユーロ
- 従前、「責任準備金およびその他の保険負債」として計上されていた-226.5十億ユーロの保険契約負債

(b) 下記を含む、合計+228.6十億ユーロの「保険契約に関連する負債」の認識：

- 保険契約の将来キャッシュ・フローの最善の見積り、ならびにリスク調整およびIFRS第17号に基づき測
定され繰り延べられた契約上のサービス・マージン
- 保険契約に関連するその他の資産および負債（保険契約者からの請求および保険契約者に対する債務に
係る事前積立金）のうち、従前は「純損益を通じて公正価値で測定する発行済負債証券」に計上されて
いた+5.7十億ユーロ

(c) 当グループは、IFRS第9号の修正を適用し、これにより、直接参加型契約負債を担保し、純損益を通じ
て公正価値で測定される当グループが発行した金融商品を、貸借対照表に計上することが可能となりま
した。その結果、「保険事業に関連する金融投資およびその他の資産」は、+0.8十億ユーロの「純損益
を通じて公正価値で測定する負債証券」および+1.2十億ユーロの「償却原価で測定する負債証券」の負
債により、2十億ユーロ増加しました。

(d) 当グループは、IFRS第17号の適用により、IAS第40号およびIAS第16号の修正も適用し、直接参加型契
約を担保する投資不動産を純損益を通じて公正価値で評価することとなり、「保険事業に関連する金融
投資およびその他の資産」に+1.4十億ユーロを計上しています。

(e) IFRS第17号およびIFRS第9号を適用した結果、株主帰属資本に対する税効果純額は-0.6十億ユーロとな
っています。



連結貸借対照表 – 2023年3月31日現在

(単位：百万ユーロ)	2023年3月31日現在	2023年1月1日現在
資産		
預金および中央銀行預け金	336,126	318,560
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング目的有価証券	238,029	166,077
貸出金および売戻契約	280,916	191,125
デリバティブ金融商品	278,949	327,932
ヘッジ目的デリバティブ	22,008	25,401
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産		
負債性金融商品	37,972	35,878
資本性金融商品	2,206	2,188
償却原価で測定する金融資産		
金融機関貸出金および債権	38,323	32,616
顧客貸出金および債権	854,272	857,020
負債性金融商品	115,400	114,014
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(6,226)	(7,477)
保険事業に関連する金融投資およびその他の資産	250,621	245,475
当期および繰延税金資産	5,575	5,932
未収収益およびその他の資産	184,183	208,543
持分法適用会社投資	6,442	6,073
有形固定資産および投資不動産	39,852	38,468
無形固定資産	3,821	3,790
のれん	5,327	5,294
売却目的保有資産	-	86,839
資産合計	2,693,796	2,663,748
負債		
中央銀行預金	5,085	3,054
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング目的有価証券	124,966	99,155
預金および買戻契約	320,476	234,076
負債証券	71,294	65,578
デリバティブ金融商品	256,097	300,121
ヘッジ目的デリバティブ	36,006	40,001
償却原価で測定する金融負債		
金融機関預金	155,420	124,718
顧客預金	1,001,453	1,008,056
負債性金融商品	171,987	155,359
劣後債	24,072	24,160
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(17,568)	(20,201)
当期および繰延税金負債	3,791	2,979
未払費用およびその他の負債	166,778	185,010
保険契約に関連する負債	231,872	228,630
偶発債務等引当金	10,061	10,040
売却目的保有資産関連負債	-	77,002
負債合計	2,561,790	2,537,738
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	125,909	115,008
親会社株主帰属当期純利益	4,435	9,848
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	130,344	124,856
資本に直接認識される資産および負債の変動	(3,199)	(3,619)
親会社株主資本	127,145	121,237
少数株主資本	4,861	4,773
連結資本合計	132,006	126,010
負債および連結資本合計	2,693,796	2,663,748



連結損益計算書

	1Q23	1Q22	1Q23 / 1Q22	4Q22	1Q23 / 4Q22
(単位：百万ユーロ)					
グループ					
営業収益	12,032	11,868	+1.4%	10,885	+10.5%
営業費用および減価償却費	-9,191	-8,754	+5.0%	-7,471	+23.0%
営業総利益	2,841	3,114	-8.8%	3,414	-16.8%
リスク費用	-642	-651	-1.4%	-697	-7.9%
営業利益	2,199	2,463	-10.7%	2,717	-19.1%
持分法適用会社投資損益	178	158	+12.7%	94	+89.1%
その他の営業外項目	0	4	n.s.	-22	n.s.
税引前利益	2,377	2,625	-9.4%	2,790	-14.8%
法人税	-791	-919	-13.9%	-732	+8.1%
少数株主帰属純利益	-98	-95	+3.2%	-102	-3.6%
非継続事業の純利益	2,947	229	n.s.	185	n.s.
株主帰属純利益	4,435	1,840	n.s.	2,142	n.s.
コストインカム率	76.4%	73.8%	+2.6 pt	68.6%	+7.8 pt

BNPパリバの2023年度第1四半期に関する財務情報の開示は、本プレスリリース、修正再表示された2022年度の四半期の数値、およびプレゼンテーションに含まれています。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について (i) 2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、(ii) 2023年1月1日付でのIFRS第17号（保険契約）の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、(iii) 2022年1月1日付でのトルコに対するIAS第29号（超インフレ経済下における財務報告）の適用、ならびに (iv) グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものとして修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

法令上要求される開示情報はすべて、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2023年度第1四半期 - コア事業別業績

	コマーシャル& 個人向け バンキングサービ ス部門 (プライベ ート・バンキング の2/3)	インベストメン &プロテクシ ョンサービ ス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計	
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	6,494	1,409	4,873	12,776	-744	12,032	
	対前年同期比	+5.6%	+0.6%	+4.0%	+4.4%	n.s.	+1.4%
	対前四半期比	+5.7%	-7.8%	+26.8%	+11.0%	+18.6%	+10.5%
営業費用および減価償却費	-4,479	-897	-3,440	-8,816	-375	-9,191	
	対前年同期比	+4.6%	+5.4%	+3.1%	+4.1%	+32.2%	+5.0%
	対前四半期比	+15.7%	-6.2%	+26.1%	+16.7%	n.s.	+23.0%
営業総利益	2,015	512	1,433	3,959	-1,118	2,841	
	対前年同期比	+8.0%	-6.7%	+6.3%	+5.2%	+72.6%	-8.8%
	対前四半期比	-11.2%	-10.5%	+28.5%	+0.1%	n.s.	-16.8%
リスク費用	-646	-1	-1	-648	6	-642	
	対前年同期比	+9.8%	-83.9%	-47.8%	+8.6%	n.s.	-1.4%
	対前四半期比	+5.4%	n.s.	-99.5%	-14.3%	-89.3%	-7.9%
営業利益	1,369	511	1,432	3,311	-1,112	2,199	
	対前年同期比	+7.2%	-5.8%	+6.4%	+4.6%	+58.4%	-10.7%
	対前四半期比	-17.3%	-12.9%	+49.4%	+3.5%	n.s.	-19.1%
持分法適用会社投資損益	95	68	3	166	12	178	
その他の営業外項目	8	0	-6	1	-1	0	
税引前利益	1,471	578	1,428	3,478	-1,101	2,377	
	対前年同期比	+7.1%	-7.0%	+5.7%	+3.9%	+52.5%	-9.4%
	対前四半期比	-11.6%	-10.1%	+50.0%	+6.7%	n.s.	-14.8%

	コマーシャル& 個人向け バンキングサービ ス部門 (プライベ ート・バンキング の2/3)	インベストメン &プロテクシ ョンサービ ス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計	
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	6,494	1,409	4,873	12,776	-744	12,032	
	前年同期	6,147	1,400	4,685	12,232	-364	11,868
	前四半期	6,141	1,529	3,842	11,512	-627	10,885
営業費用および減価償却費	-4,479	-897	-3,440	-8,816	-375	-9,191	
	前年同期	-4,281	-851	-3,338	-8,471	-283	-8,754
	前四半期	-3,872	-956	-2,727	-7,556	85	-7,471
営業総利益	2,015	512	1,433	3,959	-1,118	2,841	
	前年同期	1,866	549	1,347	3,762	-648	3,114
	前四半期	2,269	572	1,115	3,956	-542	3,414
リスク費用	-646	-1	-1	-648	6	-642	
	前年同期	-589	-7	-2	-597	-54	-651
	前四半期	-613	14	-157	-756	59	-697
営業利益	1,369	511	1,432	3,311	-1,112	2,199	
	前年同期	1,277	542	1,346	3,165	-702	2,463
	前四半期	1,656	586	958	3,200	-483	2,717
持分法適用会社投資損益	95	68	3	166	12	178	
	前年同期	86	45	4	135	23	158
	前四半期	69	61	2	132	-38	94
その他の営業外項目	8	0	-6	1	-1	0	
	前年同期	11	35	1	46	-42	4
	前四半期	-62	-4	-8	-73	51	-22
税引前利益	1,471	578	1,428	3,478	-1,101	2,377	
	前年同期	1,374	622	1,351	3,347	-722	2,625
	前四半期	1,663	643	952	3,259	-469	2,790
法人税						-791	
少数株主帰属純利益						-98	
非継続事業の純利益						2,947	
株主帰属純利益						4,435	



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	分配可能					
	1Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グループ						
営業収益	12,492	12,032	10,885	11,141	11,536	11,868
営業費用および減価償却費	-8,294	-9,191	-7,471	-6,860	-6,779	-8,754
営業総利益	4,198	2,841	3,414	4,281	4,757	3,114
リスク費用	-642	-642	-697	-897	-758	-651
営業利益	3,556	2,199	2,717	3,384	3,999	2,463
持分法適用会社投資損益	178	178	94	176	227	158
その他の営業外項目	0	0	-22	39	-26	4
税引前利益	3,734	2,377	2,790	3,599	4,200	2,625
法人税	-791	-791	-732	-871	-1,131	-919
少数株主帰属純利益	-98	-98	-102	-92	-112	-95
非継続事業の純利益	0	2,947	185	136	136	229
株主帰属純利益	2,845	4,435	2,142	2,773	3,093	1,840
コスト/インカム率	66.4%	76.4%	68.6%	61.6%	58.8%	73.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)		815.9	823.1	816.8	796.9	776.8
預金平均残高 (十億ユーロ)		784.5	794.1	789.9	770.4	752.2
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)		901.2	927.2	907.1	890.2	853.3
リスク費用 (年率、ベースポイント)		28	30	40	34	31



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ホールセールバンキング (CIB) 部門					
営業収益	4,873	3,842	3,783	4,093	4,685
営業費用および減価償却費	-3,440	-2,727	-2,327	-2,299	-3,338
営業総利益	1,433	1,115	1,456	1,794	1,347
リスク費用	-1	-157	-90	-76	-2
営業利益	1,432	958	1,366	1,717	1,346
持分法適用会社投資損益	3	2	5	9	4
その他の営業外項目	-6	-8	-3	-1	1
税引前利益	1,428	952	1,369	1,726	1,351
コスト/インカム率	70.6%	71.0%	61.5%	56.2%	71.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	28.8	29.9	29.6	28.9	27.4
リスクアセット (十億ユーロ)	244.6	244.0	266.5	260.7	256.2
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・バンキング事業					
営業収益	1,455	1,513	1,171	1,239	1,258
営業費用および減価償却費	-849	-734	-654	-648	-805
営業総利益	605	779	518	591	453
リスク費用	1	-155	-116	-85	20
営業利益	607	624	402	505	473
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	1
その他の営業外項目	0	0	0	0	0
税引前利益	608	626	403	506	474
コスト/インカム率	58.4%	48.5%	55.8%	52.3%	64.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	182	188	187	176	168
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	177	189	179	170	163
預金平均残高 (十億ユーロ)	216	219	209	198	190
リスク費用 (年率、ベースポイント)	0	33	26	20	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.5	16.5	16.4	16.0	15.2
リスクアセット (十億ユーロ)	146.1	146.3	155.5	149.0	145.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・マーケット事業					
営業収益	2,764	1,651	1,980	2,191	2,814
うち FICC	1,906	1,152	1,156	1,379	1,749
うち株式・プライムサービス	857	499	824	812	1,065
営業費用および減価償却費	-2,016	-1,474	-1,161	-1,152	-1,994
営業総利益	748	177	819	1,040	819
リスク費用	-4	-3	28	8	-21
営業利益	744	174	847	1,048	798
持分法適用会社投資損益	2	1	3	8	2
その他の営業外項目	-7	-9	-1	-1	1
税引前利益	740	166	848	1,055	801
コスト/インカム率	72.9%	89.3%	58.6%	52.6%	70.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.2	12.0	11.8	11.5	10.9
リスクアセット (十億ユーロ)	88.3	87.7	99.4	98.5	96.3
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
証券管理事業					
営業収益	655	679	632	663	613
営業費用および減価償却費	-575	-520	-513	-499	-538
営業総利益	79	159	119	164	75
リスク費用	1	1	-2	0	0
営業利益	81	160	118	164	75
持分法適用会社投資損益	0	-1	1	0	1
その他の営業外項目	0	1	-1	0	0
税引前利益	81	161	118	164	77
コスト/インカム率	87.9%	76.6%	81.1%	75.3%	87.8%
預かり資産 (十億ユーロ)	11,941	11,133	10,798	11,214	11,907
管理資産 (十億ユーロ)	2,520	2,303	2,262	2,256	2,426
取引件数 (百万件)	38.6	36.9	35.5	38.3	38.6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.1	1.4	1.4	1.4	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	10.2	9.9	11.6	13.2	14.6



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポラル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	6,670	6,306	6,377	6,580	6,308
営業費用および減価償却費	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,084	2,342	2,610	2,814	1,927
リスク費用	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	1,435	1,742	1,929	2,200	1,331
持分法適用会社投資損益	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,537	1,750	2,052	2,383	1,428
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-66	-87	-65	-76	-54
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率	68.7%	62.9%	59.1%	57.2%	69.4%
融資平均残高 (十億ユーロ)	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門 - PBL/CBLを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	6,666	6,298	6,364	6,566	6,296
営業費用および減価償却費	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,081	2,335	2,597	2,800	1,916
リスク費用	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	1,431	1,735	1,916	2,186	1,320
持分法適用会社投資損益	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,534	1,742	2,039	2,369	1,417
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-66	-87	-65	-76	-54
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率	68.8%	62.9%	59.2%	57.4%	69.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門 (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	6,494	6,141	6,223	6,420	6,147
営業費用および減価償却費	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,015	2,269	2,545	2,737	1,866
リスク費用	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,369	1,656	1,863	2,124	1,277
持分法適用会社投資損益	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率	69.0%	63.0%	59.1%	57.4%	69.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポラル&個人向けバンキングサービス部門 - PBL/CBLを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	6,491	6,134	6,210	6,406	6,136
営業費用および減価償却費	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,012	2,262	2,533	2,723	1,855
リスク費用	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,365	1,648	1,851	2,110	1,266
持分法適用会社投資損益	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率	69.0%	63.1%	59.2%	57.5%	69.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	4,157	3,937	3,960	4,099	3,902
うち受取利息純額	2,678	2,483	2,499	2,582	2,413
うち手数料	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	949	1,218	1,372	1,531	796
リスク費用	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	717	1,103	1,087	1,297	557
持分法適用会社投資損益	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	39	-54	0	10	-3
税引前利益	844	1,123	1,187	1,441	625
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率	77.2%	69.1%	65.3%	62.6%	79.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 - P&L/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	4,154	3,929	3,948	4,085	3,891
うち受取利息純額	2,675	2,475	2,487	2,568	2,401
うち手数料	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	946	1,210	1,360	1,517	785
リスク費用	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	714	1,095	1,075	1,283	546
持分法適用会社投資損益	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	39	-54	0	10	-3
税引前利益	840	1,115	1,174	1,427	613
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率	77.2%	69.2%	65.6%	62.9%	79.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,984	3,775	3,809	3,941	3,744
営業費用および減価償却費	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	880	1,145	1,308	1,455	735
リスク費用	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	652	1,017	1,023	1,222	504
持分法適用会社投資損益	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	39	-54	0	10	-3
税引前利益	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率	77.9%	69.7%	65.7%	63.1%	80.4%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポラル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,981	3,768	3,796	3,927	3,733
営業費用および減価償却費	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	877	1,138	1,295	1,440	724
リスク費用	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	649	1,009	1,010	1,208	492
持分法適用会社投資損益	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	39	-54	0	10	-3
税引前利益	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率	78.0%	69.8%	65.9%	63.3%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコーポラル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	3,509	3,403	3,354	3,479	3,317
うち受取利息純額	2,139	2,050	2,011	2,074	1,947
うち手数料	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	736	1,102	1,161	1,327	640
リスク費用	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	553	997	931	1,140	442
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	5	31	6
税引前利益	555	996	936	1,171	448
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコーポラル&個人向けバンキング事業税引前利益	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率	79.0%	67.6%	65.4%	61.9%	80.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	441	444	441	433	425
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	467	463	460	449	437
預金平均残高 (十億ユーロ)	494	502	508	501	492
リスク費用 (年率、ベースポイント)	53	11	58	51	45
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコーポラル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	3,506	3,395	3,341	3,465	3,306
うち受取利息純額	2,136	2,042	1,998	2,060	1,936
うち手数料	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	733	1,094	1,148	1,313	628
リスク費用	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	550	989	918	1,126	430
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	5	31	6
税引前利益	552	989	923	1,157	436
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコーポラル&個人向けバンキング事業税引前利益	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率	79.1%	67.8%	65.6%	62.1%	81.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	441	444	441	433	425
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	467	463	460	449	437
預金平均残高 (十億ユーロ)	494	502	508	501	492
リスク費用 (年率、ベースポイント)	53	11	58	51	45
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコーポラル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,347	3,249	3,208	3,326	3,164
営業費用および減価償却費	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	676	1,036	1,100	1,254	582
リスク費用	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	496	918	870	1,068	391
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	5	31	6
税引前利益	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率	79.8%	68.1%	65.7%	62.3%	81.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,344	3,242	3,195	3,312	3,153
営業費用および減価償却費	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	673	1,029	1,087	1,240	571
リスク費用	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	493	910	857	1,053	380
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	5	31	6
税引前利益	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率	79.9%	68.3%	66.0%	62.6%	81.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7

(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	1,673	1,670	1,669	1,728	1,613
うち受取利息純額	896	902	899	919	847
うち手数料	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	397	460	536	612	374
リスク費用	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	322	481	434	548	281
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	-1	1	25	0
税引前利益	322	481	434	574	282
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-37	-48	-36	-42	-31
コマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	76.3%	72.4%	67.9%	64.6%	76.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2

(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	1,670	1,662	1,656	1,714	1,602
うち受取利息純額	893	894	887	905	836
うち手数料	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	394	453	523	598	363
リスク費用	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	318	474	421	534	270
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	-1	1	25	0
税引前利益	318	473	422	560	270
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-37	-48	-36	-42	-31
コマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	76.4%	72.8%	68.4%	65.1%	77.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF) 事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅財形貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)	3	8	13	14	11

(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	1,587	1,592	1,592	1,647	1,531
営業費用および減価償却費	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	357	426	500	569	336
リスク費用	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	285	434	397	505	250
営業外項目	0	-1	1	26	0
税引前利益	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	77.5%	73.2%	68.6%	65.4%	78.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	1,584	1,584	1,579	1,633	1,520
営業費用および減価償却費	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	354	418	487	555	325
リスク費用	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	282	426	385	491	239
営業外項目	0	-1	1	26	0
税引前利益	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	77.6%	73.6%	69.1%	66.0%	78.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4
(単位: 百万ユーロ)					
BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	675	656	652	671	654
うち受取利息純額	392	369	382	387	380
うち手数料	284	286	271	284	274
営業費用および減価償却費	-464	-426	-440	-416	-454
営業総利益	211	230	213	255	201
リスク費用	-98	-114	-114	-110	-128
営業利益	113	116	99	146	73
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	2	0
税引前利益	113	116	99	148	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-7	-5	-4	-8	-8
BNLバンカ・コメルシアレの税引前利益	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	68.7%	64.9%	67.4%	62.0%	69.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	77	79	79	78	79
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	80	80	80	79	82
預金平均残高 (十億ユーロ)	63	64	65	65	63
リスク費用 (年率、ベースポイント)	49	57	57	55	63
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	46.4	47.6	48.7	49.3	49.8
(単位: 百万ユーロ)					
BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの2/3を含む)					
営業収益	654	635	631	649	633
営業費用および減価償却費	-450	-411	-423	-403	-440
営業総利益	204	224	208	246	193
リスク費用	-98	-114	-114	-109	-128
営業利益	106	110	95	138	65
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	2	0
税引前利益	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	68.8%	64.7%	67.0%	62.0%	69.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	46.0	47.1	48.2	48.8	49.3
(単位: 百万ユーロ)					
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹					
営業収益	1,016	947	917	965	935
うち受取利息純額	731	673	636	677	632
うち手数料	285	274	281	288	303
営業費用および減価償却費	-945	-698	-558	-554	-905
営業総利益	70	348	359	412	30
リスク費用	-8	-20	-17	-16	17
営業利益	62	328	342	396	47
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	3	3	4
税引前利益	64	327	345	399	52
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-12	-25	-19	-20	-10
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	93.1%	63.2%	60.9%	57.3%	96.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	138	138	137	134	131
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	142	141	140	136	125
預金平均残高 (十億ユーロ)	160	161	162	162	161
リスク費用 (年率、ベースポイント)	2	6	5	5	-6
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	53.2	54.5	54.2	54.2	58.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの2/3を含む）					
営業収益	964	896	871	920	890
営業費用および減価償却費	-906	-571	-532	-529	-870
営業総利益	58	324	339	392	20
リスク費用	-8	-21	-17	-16	18
営業利益	51	303	323	376	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	1	-1	3	3	4
税引前利益	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	94.0%	63.8%	61.1%	57.4%	97.8%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット（十億ユーロ）	52.4	53.9	53.4	53.5	57.6
（単位：百万ユーロ）					
ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの100%を含む）¹					
営業収益	145	130	116	114	115
うち受取利息純額	120	105	94	90	88
うち手数料	25	25	22	24	27
営業費用および減価償却費	-88	-67	-62	-66	-80
営業総利益	58	63	54	48	35
リスク費用	-1	9	3	3	5
営業利益	56	72	56	51	40
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	1	0	2
税引前利益	57	72	58	51	42
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-1	-2	-2
コマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	60.3%	51.3%	53.8%	57.8%	69.8%
融資平均残高（十億ユーロ）	13	13	13	13	13
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	14	13	13	13	13
預金平均残高（十億ユーロ）	29	30	31	30	29
リスク費用（年率、ベースポイント）	4	-25	-8	-9	-17
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット（十億ユーロ）	7.3	7.4	7.8	7.6	7.5
（単位：百万ユーロ）					
ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの2/3を含む）					
営業収益	142	127	113	110	111
営業費用および減価償却費	-86	-65	-61	-64	-78
営業総利益	56	62	52	46	33
リスク費用	-1	8	3	3	5
営業利益	54	70	55	49	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	1	0	2
税引前利益	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	60.5%	51.3%	53.7%	57.9%	70.4%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット（十億ユーロ）	7.1	7.3	7.7	7.5	7.4
（単位：百万ユーロ）					
他の国々のコマーシャル&個人向けバンキング事業（プライベートバンキングの100%を含む）¹—欧州・地中海沿岸諸国					
営業収益	648	534	607	620	585
うち受取利息純額	540	433	488	508	465
うち手数料	108	101	118	112	120
営業費用および減価償却費	-435	-419	-395	-416	-428
営業総利益	212	115	212	204	156
リスク費用	-49	-10	-55	-47	-41
営業利益	164	105	156	158	116
持分法適用会社投資損益	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	288	126	251	270	177
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-8	-6	-3	-3	-3
他の国々のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益—欧州・地中海沿岸諸国	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	67.2%	78.4%	65.1%	67.0%	73.3%
融資平均残高（十億ユーロ）	34	35	35	35	34
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	37	38	38	37	37
預金平均残高（十億ユーロ）	42	43	43	41	40
リスク費用（年率、ベースポイント）	53	11	58	51	45
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット（十億ユーロ、年初末）	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
他の国々のコマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む) - 欧州・地中海沿岸諸国					
営業収益	638	526	601	615	580
営業費用および減価償却費	-433	-417	-393	-414	-427
営業総利益	204	109	208	201	153
リスク費用	-49	-10	-55	-46	-41
営業利益	156	99	153	155	112
持分法適用会社投資損益	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	67.9%	79.2%	65.4%	67.3%	73.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4
(単位: 百万ユーロ)					
専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業-プライベートバンキングの100%を含む)¹					
営業収益	2,512	2,369	2,416	2,481	2,405
営業費用および減価償却費	-1,377	-1,244	-1,179	-1,198	-1,274
営業総利益	1,136	1,125	1,238	1,283	1,131
リスク費用	-418	-485	-396	-380	-357
営業利益	717	640	841	902	774
持分法適用会社投資損益	7	-5	21	24	16
その他の営業外項目	-31	-8	3	15	13
税引前利益	693	627	865	942	804
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	692	626	865	941	803
コスト/インカム率	54.8%	52.5%	48.8%	48.3%	53.0%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	125	123	123	121	118
リスク費用 (年率、ベースポイント)	134	157	129	125	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	13.1	12.1	12.0	11.8	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	115.9	111.6	109.0	108.6	106.8
(単位: 百万ユーロ)					
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,288	1,283	1,345	1,371	1,388
営業費用および減価償却費	-810	-739	-689	-718	-776
営業総利益	477	544	656	653	613
リスク費用	-358	-413	-336	-309	-315
営業利益	120	131	320	344	297
持分法適用会社投資損益	9	-5	22	26	14
その他の営業外項目	-7	-15	-2	-6	-7
税引前利益	122	111	340	365	305
コスト/インカム率	62.9%	57.6%	51.2%	52.4%	55.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	97	96	94	94	93
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	98	97	97	96	94
リスク費用 (年率、ベースポイント)	145	170	139	129	134
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.6	8.1	8.1	8.0	7.7
リスクアセット (十億ユーロ)	77.7	74.8	73.0	73.1	72.4
(単位: 百万ユーロ)					
アルバルとリーシング・ソリューションズ					
営業収益	982	858	874	893	812
営業費用および減価償却費	-403	-347	-341	-341	-366
営業総利益	579	511	534	553	446
リスク費用	-38	-30	-38	-49	-30
営業利益	541	482	496	504	416
持分法適用会社投資損益	0	2	1	1	4
その他の営業外項目	-24	7	5	20	20
税引前利益	517	491	502	525	440
コスト/インカム率	41.0%	40.4%	39.0%	38.2%	45.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	33.5	32.0	31.2	30.7	29.5
合計契約残高 (十億ユーロ)	53	51	49	49	48
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,614	1,592	1,520	1,501	1,484

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの100%を含む）¹					
営業収益	243	228	197	217	205
営業費用および減価償却費	-164	-158	-149	-139	-132
営業総利益	79	70	48	77	73
リスク費用	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	57	28	25	54	61
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	1	0
税引前利益	55	25	23	53	58
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	54	25	22	52	58
コスト/インカム率					
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット（十億ユーロ）	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9
個人投資家事業の融資平均残高（十億ユーロ）	2	2	2	2	1
個人投資家事業の預金平均残高（十億ユーロ）	32	30	31	31	30
個人投資家事業の運用資産残高（十億ユーロ）	157	150	150	147	162
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数（百万件）	10.0	9.2	10.1	10.1	13.0
（単位：百万ユーロ）					
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの2/3を含む）					
営業収益	240	225	195	214	203
営業費用および減価償却費	-162	-156	-147	-137	-130
営業総利益	78	69	48	77	72
リスク費用	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	56	27	25	54	60
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	1	0
税引前利益	54	25	22	52	58
コスト/インカム率					
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット（十億ユーロ）	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9
（単位：百万ユーロ）					
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門					
営業収益	1,409	1,529	1,458	1,426	1,400
営業費用および減価償却費	-897	-956	-883	-862	-851
営業総利益	512	572	575	564	549
リスク費用	-1	14	2	-5	-7
営業利益	511	586	577	559	542
持分法適用会社投資損益	68	61	31	41	45
その他の営業外項目	0	-4	41	16	35
税引前利益	578	643	650	617	622
コスト/インカム率					
運用資産残高（十億ユーロ、プライベートバンキングの100%）	1,213	1,172	1,157	1,180	1,227
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	10.6	10.0	10.0	10.0	9.9
リスクアセット（十億ユーロ）	40.6	40.6	43.2	44.7	48.7
（単位：百万ユーロ）					
保険事業					
営業収益	524	500	514	512	490
営業費用および減価償却費	-202	-198	-199	-201	-197
営業総利益	322	302	315	311	294
リスク費用	0	0	0	0	0
営業利益	322	302	315	311	294
持分法適用会社投資損益	59	32	20	24	29
その他の営業外項目	0	-2	1	17	-3
税引前利益	381	332	336	352	319
コスト/インカム率					
運用資産残高（十億ユーロ）	251	247	248	255	270
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	7.3	7.1	7.1	7.2	7.2
リスクアセット（十億ユーロ）	14.6	14.8	16.5	18.2	23.2

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ウェルス&アセット・マネジメント事業					
営業収益	885	1,029	944	914	910
営業費用および減価償却費	-695	-759	-684	-661	-655
営業総利益	190	270	260	253	255
リスク費用	-1	14	2	-5	-7
営業利益	189	284	262	248	249
持分法適用会社投資損益	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	-2	40	-1	38
税引前利益	198	311	313	265	303
コスト/インカム率					
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	962	925	908	925	956
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.3	2.9	2.9	2.8	2.8
リスクアセット (十億ユーロ)	26.0	25.8	26.7	26.5	25.5
(単位:百万ユーロ)					
ウェルス・マネジメント事業					
営業収益	409	392	379	371	370
営業費用および減価償却費	-318	-317	-294	-273	-299
営業総利益	91	76	85	97	71
リスク費用	-1	13	1	-3	-7
営業利益	91	89	86	94	64
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	-1	40	0	0
税引前利益	91	87	126	94	64
コスト/インカム率					
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	406	393	389	394	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	11.8	12.0	13.1	13.3	12.3
(単位:百万ユーロ)					
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、IPSインベストメントを含む)					
営業収益	476	636	565	543	540
営業費用および減価償却費	-377	-442	-390	-387	-356
営業総利益	98	194	175	156	184
リスク費用	0	1	1	-2	1
営業利益	98	195	176	154	185
持分法適用会社投資損益	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	0	0	-1	38
税引前利益	107	224	187	171	239
コスト/インカム率					
運用資産残高 (十億ユーロ)	555	532	519	531	553
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5
リスクアセット (十億ユーロ)	14.2	13.8	13.6	13.2	13.2
(単位:百万ユーロ)					
コーポレート・センター					
営業収益	-744	-627	-324	-402	-364
うちボラティリティの修正再表示(保険事業)	-16	-87	-31	-108	-158
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	-375	85	27	64	-283
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-361	-188	-125	-106	-72
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	250	296	249	252	259
営業総利益	-1,118	-542	-296	-338	-648
リスク費用	6	59	-126	-64	-54
営業利益	-1,112	-483	-423	-402	-702
持分法適用会社投資損益	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-1,101	-469	-406	-449	-722
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)					
	4.3	3.7	3.7	3.5	3.8
リスクアセット (十億ユーロ)					
	38.3	37.1	27.9	28.3	22.1



代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁
（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書（P/L）（各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門、インベストメント&プロテクションサービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 （なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランド、トルコおよび米国のプライベートバンキングの2/3を含む）</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計</p> <p>グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p>	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計（各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む（プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化（IFRIC第21号を除外後）	IFRIC第21号に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC第21号に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を第1四半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コストインカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高（単位：ペーシスポイント）	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの</p> <p>詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）。	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	<p>一時項目を除いて算定された株主帰属純利益</p> <p>一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示</p>	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率（ROE）	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率（ROTE）	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



代替的業績指標	定義	使用理由
保険事業の損益計算書の合計 (営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	保険事業の損益計算書の合計（営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計） （なお、コーポレート・センターに振り替えられる、一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティを除く） グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	営業上および本来の業績を反映した保険事業の業績の表示（技術面および財政面）
コーポレート・センターの損益計算書の合計	2023年1月1日から、IFRS第9号が保険事業に適用されるのと同時にIFRS第17号（保険契約）が適用されることを受けて、「コーポレート・センター（保険事業に関連するボラティリティの修正再表示（IFRS第9号）および付随費用（内部の販売会社）を含む）」の損益計算書の合計をいい、以下を含む。 <ul style="list-style-type: none"> - IFRS第9号に基づく一部の保険資産の認識により生じた業績のボラティリティの、コーポレート・センターの営業収益への修正再表示 - 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループ事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ関係し、営業総利益には影響を与えない。内部販売契約に関連する項目による影響は、「コーポレート・センター」に帰属する。 グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	個々の事業の業績の読み方を混乱させないための、「保険事業に帰属する」営業費用が内部販売契約に及ぼす影響のコーポレート・センターへの振替

比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算はすべて、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用：従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門：以下の3部門から成る。

- **ホールセールバンキング（CIB）部門**：グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業



- コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 :
 - コマーシャル&個人向けバンキング事業 (フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国、米国)
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業 (Nickel、Lyf等を含む)、個人投資家事業
- インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門 : 保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業 (ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメンツを含む)



堅調な業績.....	3
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	6
コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門.....	8
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門.....	13
コーポレート・センター.....	15
財務構造.....	16
IFRS第17号適用 - 比較表（未監査）.....	17
連結貸借対照表 - 比較表.....	18
連結貸借対照表 - 2023年3月31日現在.....	20
連結損益計算書.....	21
2023年度第1四半期 - コア事業別業績.....	22
連結四半期業績の推移.....	23
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） - フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示.....	34

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Raphaëlle Bouvier Flory +33(0)1 42 98 45 48

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 42 98 21 61

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Debt Investor Relation Officer

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**